

日清戦争

第十二篇第四十八章第三草按

申刻三刻

大森港六里

船名 白海軍ト新ト

六等五捕船中乗兵第一聯隊才三大隊一個中
隊在望遠 歩兵第六十五聯隊大尉松本守雄
間合中 附キ回答コ得次第第三大隊各中
隊々々御託入ラセテ

門	一八五番	一號	共六八番
---	------	----	------

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

日清戦争

附巻四葉ヲ添フ

申張之件

齋藤大尉

一、此首に全は是町西中将閣下ノ一頁ヲ
経て(附巻四葉ヲ添へ)而して修正スルハ件ヲ

レハ小官ニ因て送アリタシ

二、第五揮毫中歩兵第一聯隊才三大隊ハ一個中
隊在置 歩兵第五聯隊大尉松本守雄ニ
間合ニ中ニ附キ回答ニ得次ハ歩兵第三大隊在置
隊々号御託入ヲ乞フ

一八五五	門
一號	
一八六八	

卷之四十九
第五十章

第四十九章
第五十章



第十二篇

第四十八章 旅順口ノ攻略

廣々第九篇第三十七章。叙述シタル如ク第二軍
司令官大將伯耆大山巖ノ聯合艦隊ト協力シテ旅
順半島ヲ攻略スヘシ任務ヲ受ケタル當時英軍ノ
編成中。在ル第二師團^{中將ハ格ノ之ヲ廣}
島地方ニ停メ置テ先ツ第一師團^{中將ハ格ノ之ヲ廣}及浪茂^{中將ハ格ノ之ヲ廣}第十二
旅團^{中將ハ格ノ之ヲ廣}ハ率々本國ヲ出發シタルモノハ英軍
乃チ釜島地方ヲ占領スルノハ二師團半ノ兵力
ヲ要セラルヲ察シ先ツ旅ノ地方ヲ占領シタル後

ナ實際詠嘆口。於ケル敵ノ兵力ヲ觀察シ若シ一
師團半ノ兵力ヲ以テ之ヲ攻撃シ能ハサル情況ニ
在ルヲ見ハ^{其時ニ至リ}第二師團ヲ招致シ之ヲ併用セ
ルハ^{其時ニ至リ}敵ノ^{大軍}ヲ屬セシ攻城敵ハ
其徒歩砲兵聯隊第六中隊ヲ除クノ外他ノ當時未
タ編成ヲ畢ラサリシハ^{其時ニ至リ}軍司令官ハ他日詠嘆口
攻撃ノ時機來ルヲ^{其時ニ至リ}知メ之ヲ招致スルヲ
決意ス^{其時ニ至リ}本團ヲ出發セシハ既ニ讀者ノ知ル
所ナリ

十月二十四日ヨリ花園口。上陸シ先ツ第一師團
ヲ以テ十一月六日、七日兩日。於テ金島大連灣地
方ヲ攻略ス此間混成第十二旅團亦陸續此地方ニ
進入シ^{其時ニ至リ}第一師團半ノ兵力ヲ^{其時ニ至リ}十一月十三日マデ
ハ招ント皆ナ此地方ニ集中シタルハ本篇第四
十五章乃至第四十七章ニ詳述シタルヲ如ク又同
日夜ニ於ケル諸智隊ノ位置ハ第二十丸附圖ニ示シ
タルナリ

然レハ本章少シク時日ヲ遡リ金島到着已來。於
ケル第二軍司令官ノ臣處ヨリ說ヲ起サントス

第二軍司令官 復知セ
し敵軍兵力

二軍ハ片々豫定計畫ノ如ク金品大連灣地方ヲ占
領シテ今ヤ軍ハ此地ヨリ進出シ旅順口ヲ攻略
スル以前ニ於テ軍司令官ハ同地ヲ準備スル敵ノ
兵力ヲ偵知シテ、旅ヲ此攻戰ニ使用スヘキ兵力
ヲ確定セサル可ラス詳言スレハ乃チ第二師團ノ
招否ヲ決セサル可シ、此目的ヲ以テ第二軍司令
官ハ金品到着以來集収セシ諸糧ノ謄報ハ旅順口
ニ於ケル敵ノ兵力ヲ概テ左ノ如ク推算セシメ
一、旅順口本末ノ準備兵

親安	三營
慶字軍	五營
同馬隊	一哨
桂字軍	五營
和字軍	三營
計人員	八千五十名
二、金品大連灣ニ在リシ拱衛懷字兩軍ノ駐兵	
約三千六百名	
以上兩項ノ兵力ヲ合算スルハ乃チ一萬七千六	